

8

今後の検討課題

今後の検討プロセスの中で検討すべき課題を以下のとおり整理します。

■学校等施設と公園の一体的整備について

- 魅力的な施設・公園となるための空間像、双方の利便性向上につながる導入機能と連携方法、管理運営のあり方の検討
- 施設と公園の敷地・空間の区分の整理を踏まえた公園施設の設置や都市計画公園の変更等の手続き
- 質の高い整備・運営水準を担保する事業手法の検討
- 施設・公園の工事期間中の代替公園・代替園庭の確保（候補：旧和泉町ポンプ所跡地等）
- 工事期間中の動線や安全性、既存施設の快適性等を確保するための施工方法の検討 など

■学校等施設について

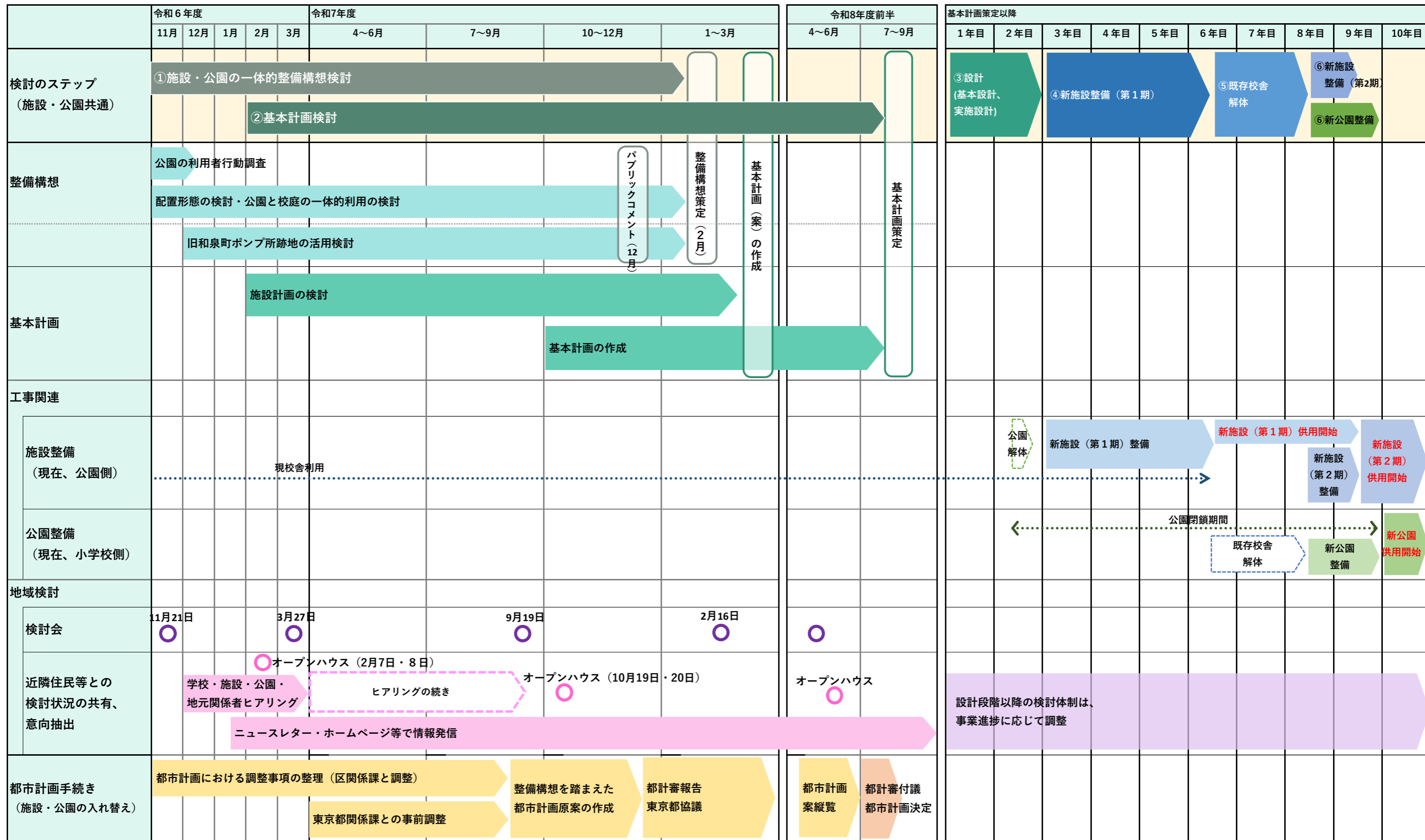
- 小学校・こども園・こどもプラザの利便性を踏まえた基本計画・設計の検討
- 日常的な安全性と柔軟な地域開放を両立するセキュリティの設定
- 将来的な教育需要の変化等に対応可能な柔軟性のある施設計画の検討
- メンテナンス、改修等に柔軟に対応できる施設計画
- 地域による施設の利用（地域活動・イベント等による利用、緊急時の避難等）への配慮 など

■公園について

- 5つの機能（シンボル、運動・遊び場、先駆的活用、歴史資源、コミュニティ形成）が充実した公園としての基本計画・設計の検討
- 学校等施設との連携（児童・園児（周辺保育園含む）による利用等）を考慮した使いやすさの確保
- 地域による施設の利用（地域活動・イベント等による利用等）への配慮
- 緊急時に求められる機能（防災拠点・医療施設との連携）の反映
- 既存の公園敷地内にある樹木の取り扱い、移植等の検討 など

和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体的整備構想
令和8年2月
千代田区教育委員会事務局子ども部子ども施設課
〒102-8688 東京都千代田区九段南1-2-1
電話：03-3264-2111（代表）

和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体的整備 想定スケジュール



基本計画の検討の方向性

■基本計画策定のねらい

- 整備構想の内容をもとに、その後の施設計画等の検討を踏まえて今後の設計の与件となる事項を定め、整備までの一貫性のある方針（配置形態、諸室・諸施設等の規模、空間としてのあり方等）を提示するために策定する。

■今後の設計に向けて基本計画で示したい主な事項の例

- 必要な機能諸室の規模・数
 - 外部環境や隣接敷地との相互関係への配慮（例：公園・校庭に面する部分の諸室配置／三井記念病院に対する圧迫感の軽減／佐久間学校通り沿いのオープンスペースの確保 等）
 - 隣接・近接させる必要がある諸室・機能配置（例：低・中・高学年教室⇔各特別教室／職員室⇔教育相談室／園庭⇔保育室／校庭⇔昇降口・こども園の出入口／体育館⇔防災備蓄倉庫／公園⇔地域利用倉庫 等）
 - 施設検討にあたって求められる機能等の水準（例：施設内のセキュリティ確保や地域開放との共立／こども園のフロアの視認性の確保／各倉庫⇔エレベーター⇔出入口の円滑な動線／公園に必要な遊具・滞留空間 等）
- ※施設と公園のプランニングの検討について深度化を図り、その結果を通じてこれらの数量、機能の配置や水準、諸室・諸施設の相互の関係性等について整理します。**

■基本計画の構成イメージ

項目	主な内容
1. はじめに	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画策定の背景・目的、検討経緯 ・基本計画の対象 これまでの検討経緯を踏まえ、策定の背景や目的、対象地等について整理
2. 整備の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に係る整備の方向性 ・学校等施設に係る整備の方向性 ・公園に係る整備の方向性 整備構想の内容をもとに、学校等施設・公園全体、またはそれぞれの整備に関する考え方を再整理
3. 整備の前提条件	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地の概要及び法的条件 ・学校等施設の導入機能 ・和泉公園の導入機能 対象敷地の面積、都市計画や法規制等の前提条件、学校等施設と公園に必要な機能のあり方やその規模などを整理
4. 全体配置計画及び和泉公園の基本計画	<ul style="list-style-type: none"> ・全体配置計画 ・和泉公園の整備イメージ ・各公園施設のあり方 対象敷地内における施設、公園の配置、動線のルート等を整理 公園については、遊具、じゃぶじゃぶ池、植栽、人工地盤下の公園施設の整備の考え方や想定される配置のイメージを平面図などに示す
5. 学校等施設の基本計画	<ul style="list-style-type: none"> ・諸室のあり方 ・地域開放と安全対策の考え方 ・学校等施設の整備イメージ ・構造計画の考え方 ・設備計画の考え方 小学校、こども園、こどもプラザに関する諸室の規模・数等の条件を整理 各諸室のあり方や想定される配置のイメージを平面図などに示すとともに、安全対策や構造、設備等の今後の検討における留意事項を整理
6. 整備の推進に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・事業手法 ・整備事業費、事業スケジュール、工事期間中の対応 ・管理運営の方針 設計・工事の効率化、区費の縮減、事業進捗のコントロール等の観点から想定される事業手法を示す 検討の深度化に応じて、事業費、スケジュール、工事期間中の対応、施設及び公園管理運営のあり方等を整理

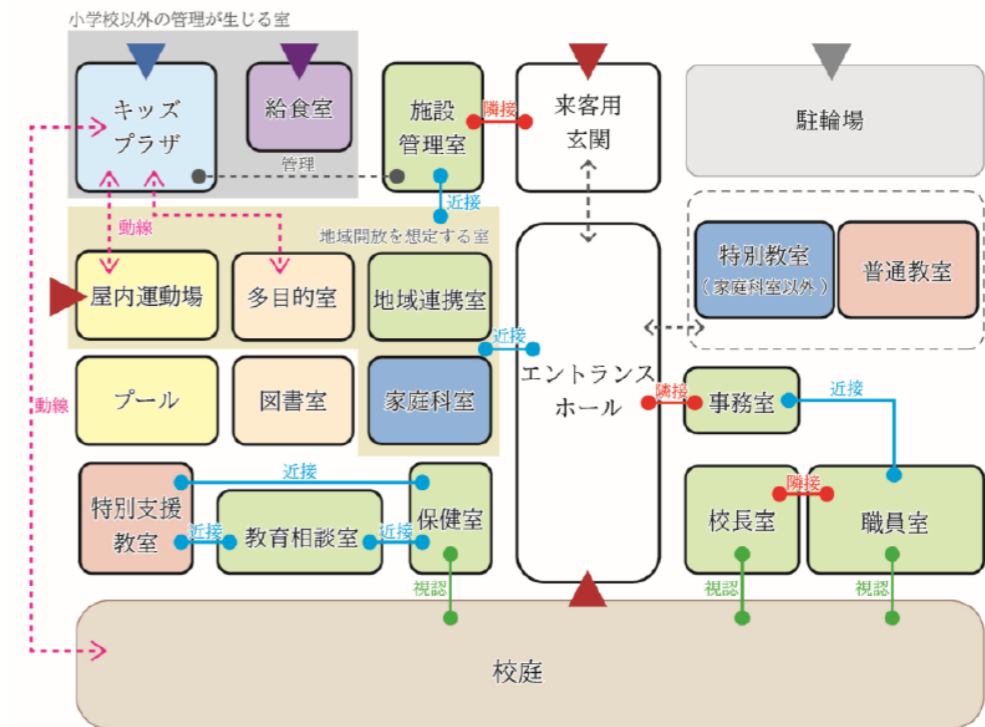
基本計画に示す整備の方向性・イメージの例

①諸室の規模・数等の条件整理

		計画		現校舎		備考
		室数	所要面積	室数	保有面積	
幼稚園	保育室	6	672	3	379	
	遊戯室	1		1		
	預かり保育室	1		2		
	職員室	1		1		
小学校	普通教室	12	768	12	730	現校舎： 和室なし
	少人数・多目的教室	6	384	-	-	
	特別教室 (理科室、図工室、音楽室、家庭科室、図書室(メディアセンター)、ランチルーム、コンピュータ室、和室)	8	1024	7	891	
	管理諸室 (校長室、職員室、保健室、事務室、主事室、会議室、記念室、防災備蓄倉庫、給食調理室・配膳室)	9	960	8	677	現校舎： 給食配膳室なし

(出典：区立お茶の水小学校・幼稚園 施設整備計画方針(千代田区)、千代田区 HP より)

②諸室配置の動線・関係性



(出典：北原小学校校舎等整備基本構想・基本計画(中野区)、中野区 HP より)

施設と公園のプランニング

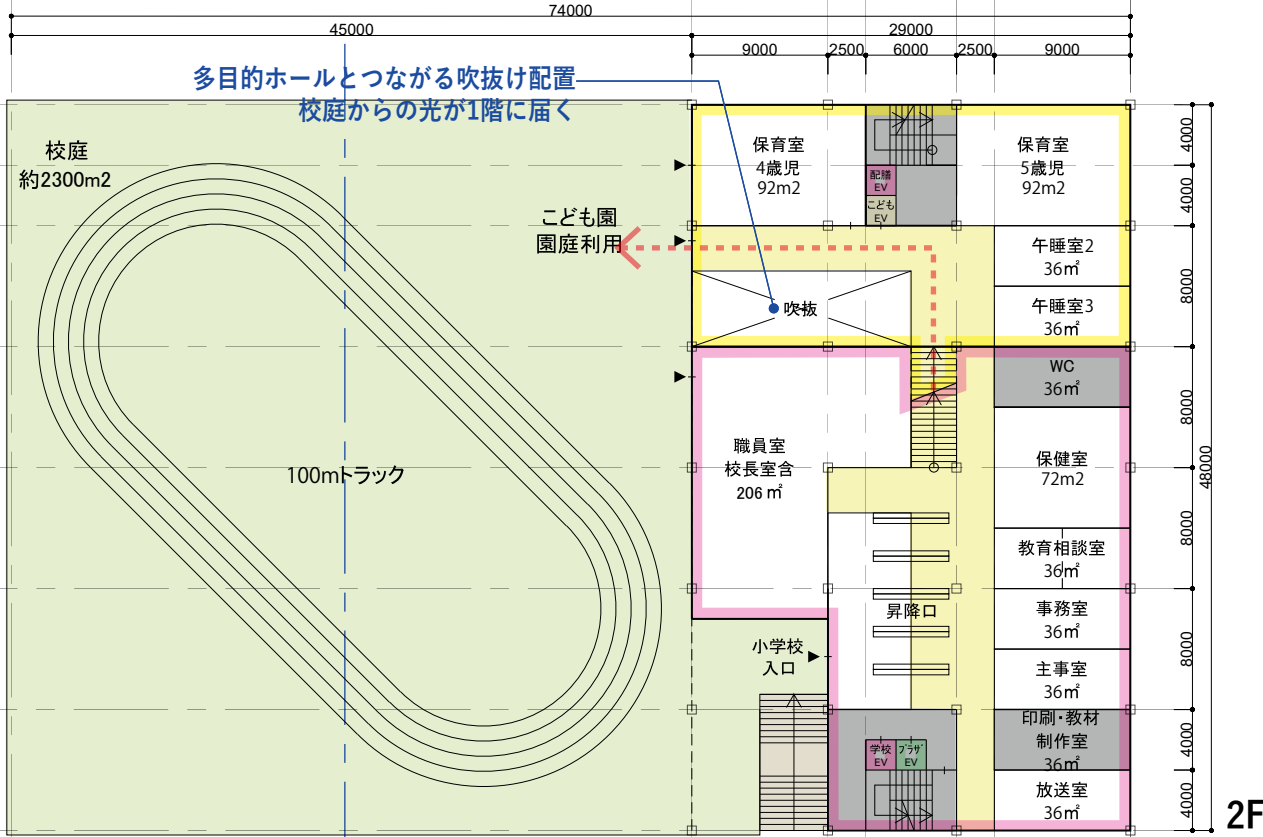
本資料は、基本計画において示す整備後の施設に必要な機能配置や面積等を検証するために、建物全体のプランに諸室の内容を落とし込んだものです。具体的設計内容は、この基本計画における整理を踏まえて、改めて設計の段階（基本設計・実施設計）において確定していきます。

矩形東案① (S=1:500)

- こども園計画の見直し。1階～2階+校庭までを一体的な空間とする。
- 普通教室6学年分を3～5階に集約。メディアセンター(図書室)を4階に配置し、生徒の活動のコアに位置づける。
- 最上階のこどもプラザ遊戯室に面した屋上広場を設置。

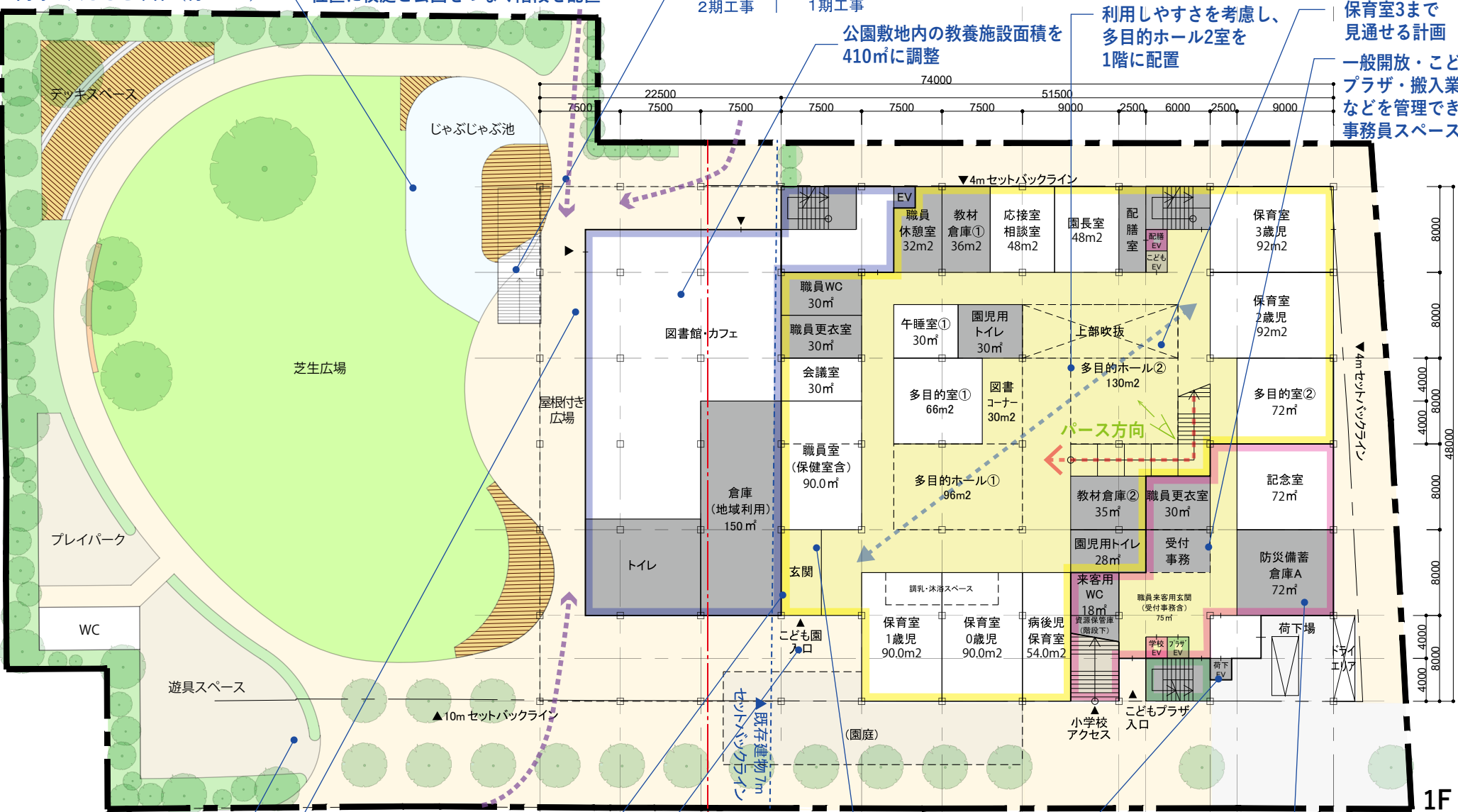
面積表	本案	既存施設
小学校	10,610 m ²	7,500 m ²
こども園	2,230 m ²	1,700 m ²
こどもプラザ	2,020 m ²	1,200 m ²
公園施設・地域利用等	1,020 m ²	1,200 m ²
合計	15,880 m ²	11,600 m ²

※面積は概算のため共用部按分は行っていません(主に小学校に含まれます)。



じゃぶじゃぶ池は、現在の和泉公園と同等の大きさを確保 (約150m²)

南北の通り抜けと病院への動線を阻害しない位置に校庭と公園をつなぐ階段を配置

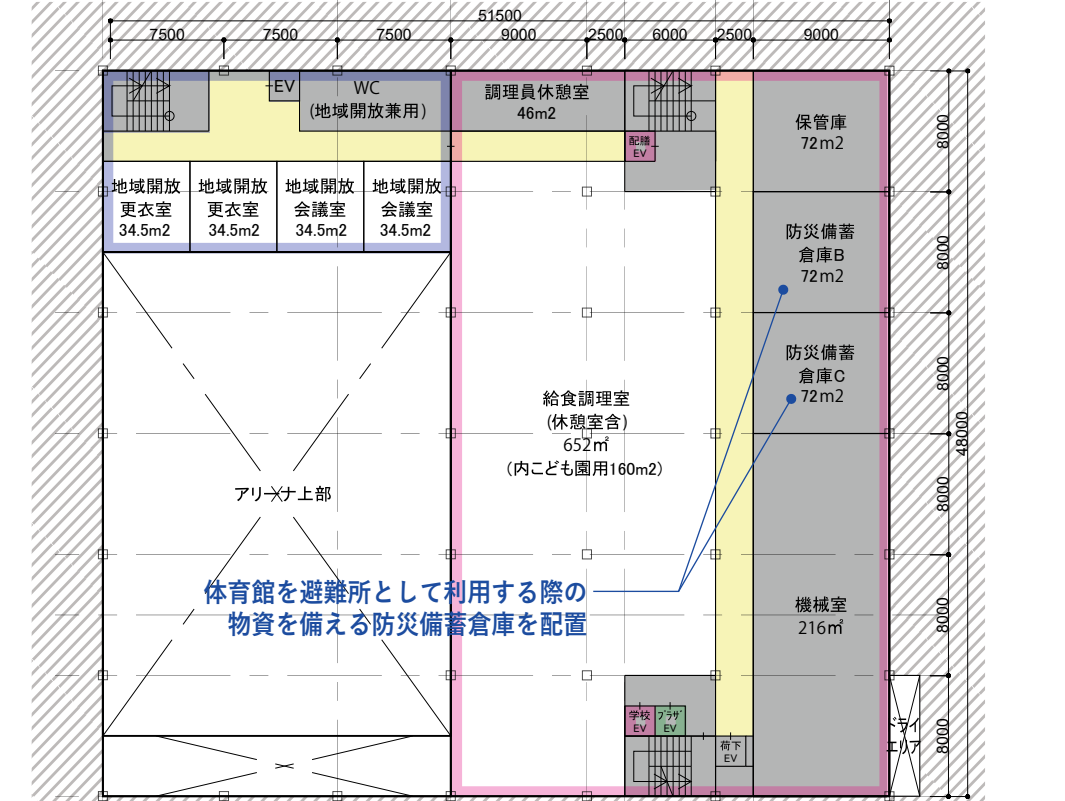
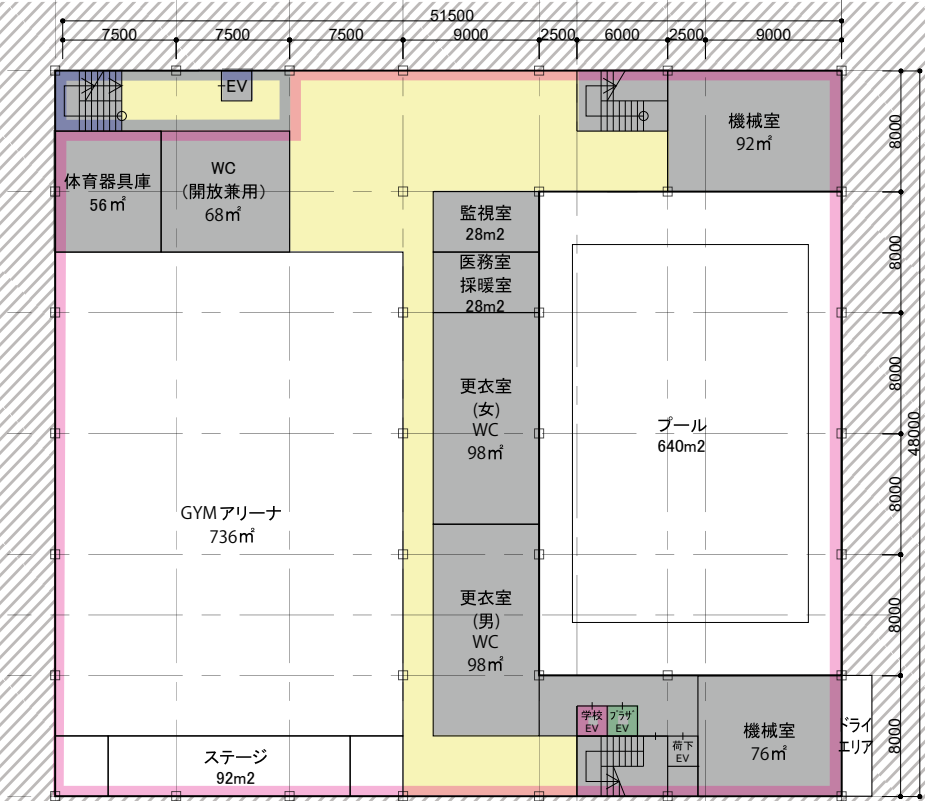


入口付近に遊具スペースを配置し、活気のあるエントランスを創出
大きな屋根付き広場下に滞留空間や南北の通り抜け動線を確保

地域イベントで使用する器具の収納を想定した地域利用の器具庫を配置
1期工事中は南からアクセス
2期工事完了後は西からもアクセス可能

玄関空間を広く確保し、視認性の高い位置に職員室を配置

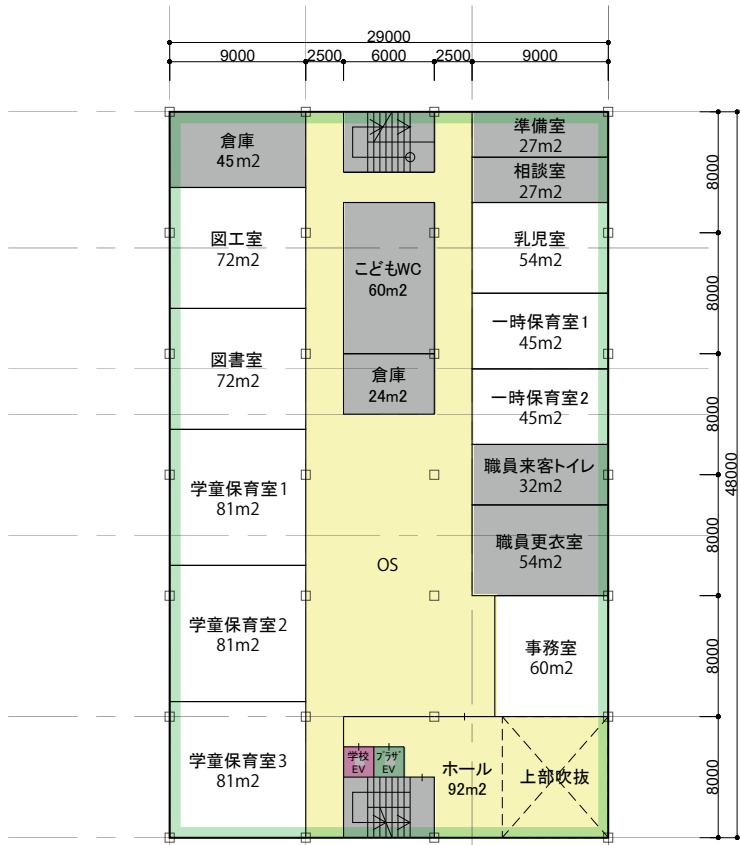
荷下ろし用EVはバックヤード動線とし、表動線と明確に分離
災害時に公園で展開しやすい物資を備える防災備蓄倉庫を配置



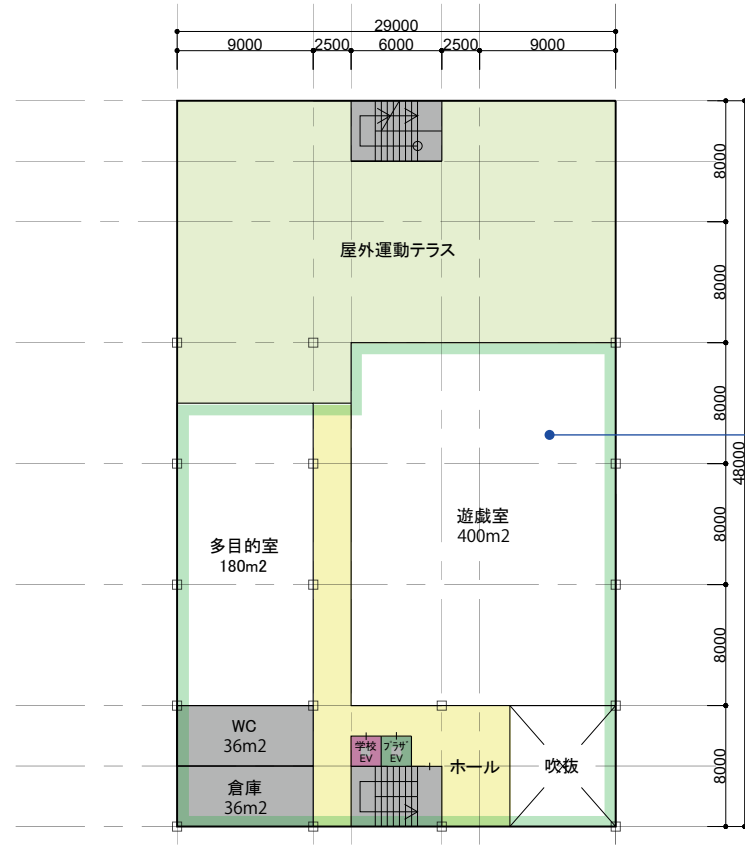
体育館を避難所として利用する際の物資を備える防災備蓄倉庫を配置

本資料は、基本計画において示す整備後の施設に必要な機能配置や面積等を検証するために、建物全体のプランに諸室の内容を落とし込んだものです。具体的設計内容は、この基本計画における整理を踏まえて、改めて設計の段階（基本設計・実施設計）において確定していきます。

矩形東案① (S=1:500)

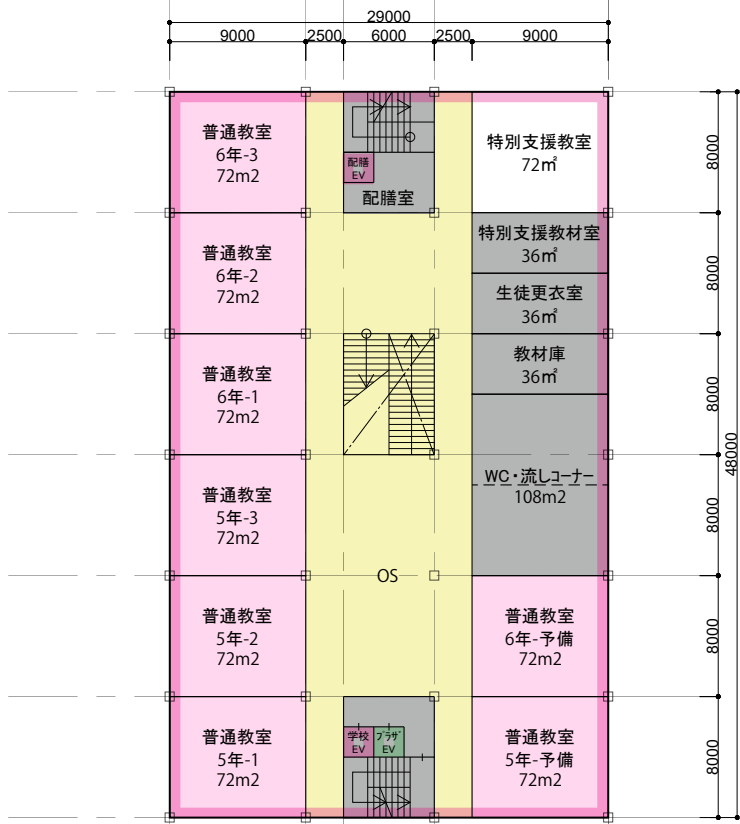


7F

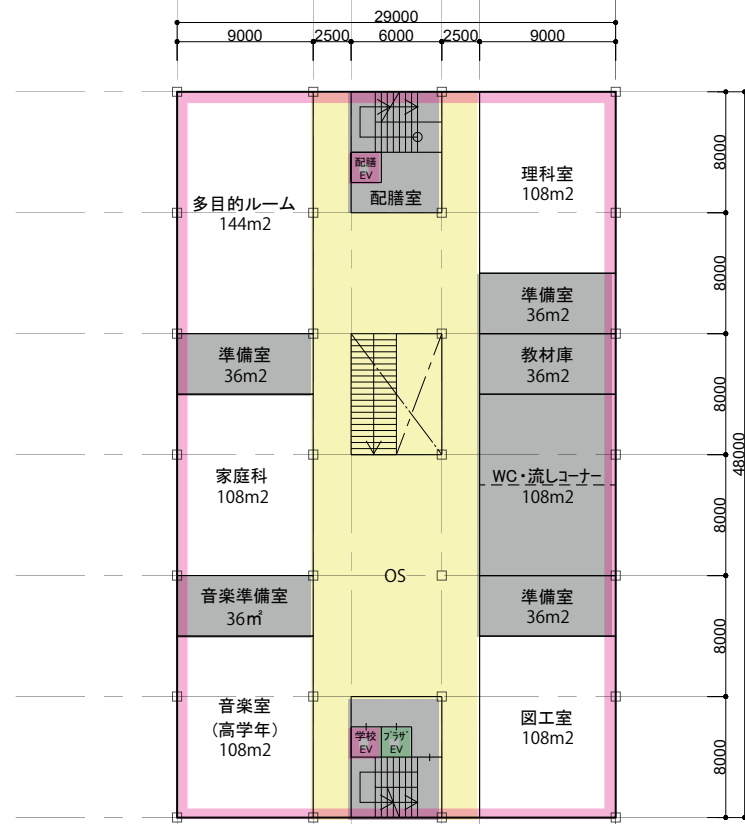


8F

遊戯室は8階に配置し、屋外運動テラスを配置



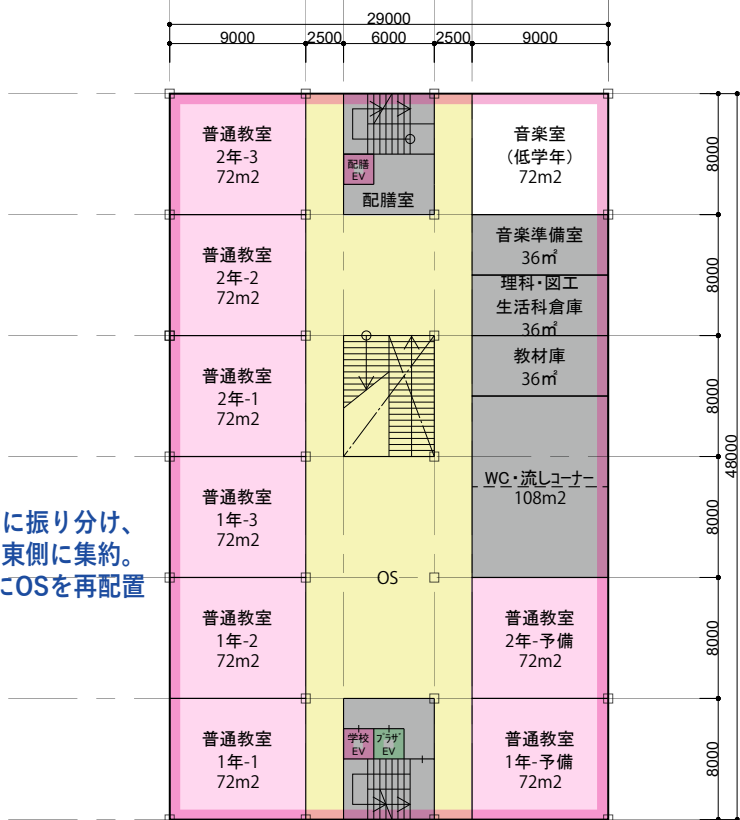
5F
(5,6年生CR)



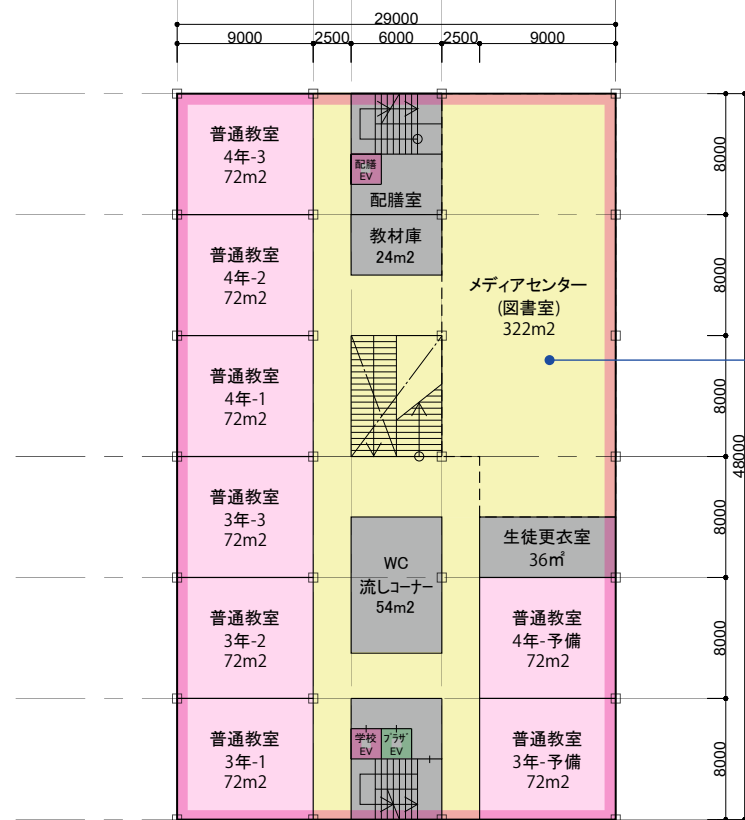
6F

地域連携利用が想定される特別教室は、子どもプラザ近隣の6階に配置

普通教室を西側・東側に振り分け、トイレ・教材庫は東側に集約。中央部にOSを再配置



3F
(1,2年生CR)



4F
(3,4年生CR)

各学年教室からアクセスしやすい位置として、メディアセンターを4階に配置